



活動報告



小西隊員

¡Hola! 2月といえばバレンタインデー。スペイン語は「San Valentin」です。エクアドルでは男性が女性にプレゼントを贈る日です。花やぬいぐるみ、風船なんかを売る露店のようなものが出て、みんなプレゼントを抱えて歩いていました。お祭りみたいで楽しかったことを思い出しました。

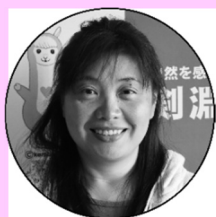
スペイン語講座がスタートしました。2/27、3/12、3/26と続きます。スペイン語に触れていただくのが目的なので、予約不要、単発参加も大歓迎です。気軽にご参加いただけると嬉しいです。なお、3/26(木)は今年度の地域おこし協力隊の活動展示会の1日目となります。日中にもミニスペイン語講座を開催しますので、併せてお越しください。詳細は来月の広報でお知らせします。

ネットショップ「絵本の里けんぶち町～おいしい通販～」では剣淵の雪入り冬キャベツの取扱いをしております。昨年は地元の方々から道外への注文を多くいただきました。雪のない地域への贈り物としていかがでしょうか。

ネットショップ「絵本の里けんぶち町～おいしい通販～」HP
<https://kembuchi.shop-pro.jp/>



雪に埋もれた、あま～い冬キャベツ。送った先ではお子さまが歓声をあげていたそうですよ。



村上隊員

今月末で着任して1年半、任期の折り返しとなります。これまで未来の剣淵町につながるような地域の活性化と自分自身の定住の礎になるような活動を目指して動いてきました。同時に都会の暮らしが知らず、認識や視点の違い、居住日数が増すごとに「生活すること」が同じ日本でこんなにも違うのかと、興味深さと不安を同時に感じるようになりました。

後半は、地域おこし協力隊として今の自分が見つけ出せる地域活性化をすすめながら、「剣淵町の理想的な形とは」、「地方が生きる在り方とそのためには」の答えを探っていかなければ、と考えています。

そして、任期終了後には自分の生活の礎をここに築いてくこと、この課題に対し短い3年に焦っていますが、日々を楽しめないと、これまでの生活を手放して北海道に来た意味を見失ってしまいます。こんなとき、地域の人たちとのなんでもない話に心なごみます。最初は自分の住む西原の人たちとの交流に心励まされ、今ではカフェに来てくれるお馴染みさんたちとの交流にも元気づけられています。

ここを心の拠点として、たくさんの人と交流しながら地元の知識や情報を吸収して、町に根付き、退任後も町のために何かできればなと着任折返しの現在の心境を語ってみました。

